



来週の投資戦略 (10/4-8)

分からない時は安川さんに聞け

2021年10月3日

小松 徹

注目事項 - 見所

小売業、機械業の6-8月期決算 — 安川電機(6506)に注目。
 10月4日、臨時国会召集 — 岸田氏が第100代総理大臣に。
 10月8日、9月の米国雇用統計 — 非農業部門雇用者数が前月比50万人増?

株式市場見通し

先週金曜日のわが国株式市場の引け値が丁度1か月前に菅首相が退陣表明した日の前場引け値に戻った。これは「改革」イメージの強い河野行革担当相が総裁選で敗れただけではない。岸田新総裁の新政府の方針と運営が安倍・麻生路線と変わらないのではとの疑念もあろう。そして、この1か月間に米中で深刻な問題が浮上してきたからだ。米国では政府債務の上限問題がなかなか解決されそうにない。イエレン米財務長官が先月から何度も警告を発しているが、議会での合意は見えていない。バイデン大統領の目玉政策の予算案も民主党の議員が反対するという異例の事態になっている。一方、中国では電力不足から工場の生産活動が通常通り進んでいない。

したがって、来週以降も内外の進展に気の抜けない状況が続こう。岸田新総理誕生後の所信表明演説で、自民党総裁選での出陣式に出たような新しいものがそのまま散りばめられるか。新内閣の顔ぶれと同時にこれからその本気度を見極めることが大切だ。河野氏でなかったから売りとのゲームは先週で終わりだ。ただし、金融資産家にとって有り難くない話が出ていたことには気を付けたい。多額の金融所得を得る人は額が増えると税率が下がるので、これを修正しようというもの。我々のように調査・研究に時間を費やし、リスクを取る金融サービス業の立場からは線引き額如何では反対だ。

さて、来週は小売業と機械業の6-8月期決算発表がある。小売りでは、水曜日にウェルシアホールディングス(3141)、イオン(8267)が、木曜日にセブン&アイホールディングス(3382)などが発表する。機械では木曜日に竹内製作所(6432)、金曜日に安川電機などが発表する。このうち、安川電機は今回も非常に注目される。というのは、当社の決算を見れば、中国と欧米の設備投資動向が分かるからだ。さらに今回は中国の電力事情や当社工場の生産状況も聞けるだろう。

最後に、来週はノーベル賞の発表がある。月曜日のノーベル生理学・医学賞が最も注目されよう。新型コロナウイルスで実用化された「mRNA ワクチン」の開発者カタリン・カリコ氏がかかなり有力だろう。市場が注目する経済指標は、火曜日の9月の米国ISM非製造業景況指数、金曜日の9月の米国雇用統計。米国景気がピークアウトしたとの証拠になる可能性もある。中国は月曜日から木曜日まで国慶節で休場なので悪報はなからう。

KPAの投資戦略

| ロング (買い) | ショート (売り) |
|-----------------|---------------|
| 好財務の割安株、今期大幅増益株 | 高PB低位株、高PE新興株 |

(注) ヘッジ・ファンド向け戦略としての一例。投資期間は半年程度を想定。



本レポートは、情報提供の目的のみでご利用者に提供されるものであり、有価証券売買に関する何らかの申し込みまたは勧誘を意図するものではありません。本レポートに記載されるすべての意見および予測は、レポートの日付時点におけるコマツ・ポートフォリオ・アドバイザーズ(以下、KPA)の判断であって、予告なしに変更される場合があります。KPAは本レポートに記載される情報もしくは分析がすべてのご利用者にとって適切であるとの表明を行うものではありません。ご利用者は、投資に伴うリスクとメリットがご自身にとって適切であるかどうか、自己の責任で判断して頂きます。KPAは本レポートについてその正確性、完全性または適時性を保証していません。KPAはいかなる保証も行わないことを明確にしています。KPAは本レポートに記載される情報もしくは分析にご利用者が依拠した結果として被る可能性のある直接的あるいは間接的な損害について責任を負いません。本レポートについての知的財産権はKPAに帰属し、著作権、特許権、商標権その他の知的財産権に関する法令により保護されています。本レポートを印刷した場合も、その印刷物の著作権は、KPAに帰属します。ご利用者は個人的利用を目的としたバックアップのためにのみ印刷、複製することができます。プリントアウトした印刷物や複製したデータを、個人的利用以外の目的で使用することはできません。ご利用者は、本レポートを、有償・無償を問わず、第三者に提供することはできません。また、これを改変、修正することはできません。本規定にご利用者が違反した場合、KPAは金銭的な損害賠償を含む救済手段を請求する権利があります。